

登録コード	TSA01500	開講年度	2026				
授業科目	学外特別講義（物質）					担当教員	萩尾 健史
英文授業名	Intercollege Lecture					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	修士課程学生
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					【授業の達成目標】	
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					幅広い見識と健全な倫理観を持ち, 工学的な立場から社会の発展のために貢献する精神と行動力を有することができるようになる。	
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					幅広い見識と健全な倫理観を持ち, 工学的な立場から自分自身の考えを説明できるようになる。	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					幅広い見識と健全な倫理観を持ち, 工学的な立場から社会の発展のために貢献する精神と行動力を有することができるようになる。	
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					本学以外の高等教育機関の講義を受講することにより, 専門及び関連する分野を中心とする広範な知識を習得し, その結果を発信することができるようになる。	
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					幅広い見識と健全な倫理観を持ち, 工学的な立場から自分自身の考えを説明できるようになる。	
(2)授業の概要	以下の高等教育機関等が開講している授業等を受講し、合格することで本科目の単位として認定される。対象となるかについては「事前に」学務委員に相談する必要がある。 <主な機関> ・長野市内の高等教育機関（清泉女学院大学、清泉女学院短期大学、長野県立大学、長野女子短期大学、長野経済短期大学、長野工業専門学校）等が開放する所定の授業を受講して合格すること。 ・上記以外の他大学での講義等 ・大学以外の教育施設（短期大学又は高等専門学校の専攻科）等における講義等 ・外国の大学における講義等 国内外での広範な活動成果を履修希望者からの申請に基づき、活動(履修)の内容・時間数、難易度等が本学の単位として、他の授業レベルに相等するか否かを個別に評価した上で、単位認定をする。海外留学等の場合、留学先の大学等で履修した実績などを単位取得の有無に関わらず申請可能であり、また、複数の授業科目、実績等を組合わせて申請することも可能である。企業等では、実務経験が生かされた講義を受けることができる。						
(3)授業計画	1．学務委員との相談（受講の承認と申請） 2．受講（他の教育機関のシラバスや海外留学のプログラム等を参照） <海外留学・海外体験などの海外活動の場合> 留学等終了後1ヶ月以内に下記の資料を揃え、学務委員に提出する。 1月末までの申請を当該年度の履修として受け付ける ・「学外特別講義」履修申請書（様式は学務係ロビーの各種申請用紙の棚にある） ・申請書に記載されている添付書類一式 （活動(履修)の内容・時間数等を証する書類、単位取得証明書、修了証など） ・その他、授業担当教員から指示のある資料等						
(4)成績評価の方法	学務委員が、提出された資料に基づき、活動(履修)の内容・時間数、難易度等が本科目として、本学の他の授業レベルに相等するか否かを評価した上で、その達成度に応じて、成績を認定する。（他の教育機関等が与えた評定がある場合には、その内容に相当する本学の評定として認定する。）なお、評価段階において必要に応じてヒアリングを行うことがある。						
(5)成績評価の基準	【提出資料】 (i)講義・活動の目的が適切であり、(ii)その講義・活動内容の背景を説明できており、(iii)その講義・活動内容を簡潔かつ適切にまとめることででき、(iv)それらの講義・活動から自分自身の価値観へのフィードバックがなされており、(v)その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	・講義・活動の目的や背景について事前に調査する。 ・講義・活動を受講するにあたり、自分がどのようなことを学習し、身に付けたいか、自分の考えをまとめ、講義・活動に臨む。 ・講義・活動から学んだこと、新たに見いだされた価値観などを活かして、社会に貢献できる人材になるための知識や技術を身に付けるように常に意識して学習する。						
(7)履修上の注意	1．事前に学務委員の承認を得ずに受講した場合は単位認定されない場合があるので注意すること。 2．本学に入学後の受講・留学等のみを対象とする。 3．期間と実施内容により、学外特別講義・学外特別講義（学科によっては学外特別講義）として認定可。						
(8)質問,相談への対応	メールなどにて随時受け付ける。教員室に来る場合は事前にアポイントメントをとること。						
(9)その他	高等教育コンソーシアムURL http://www.c-snet.jp/syllabus						

【教科書】	受講する科目の指示による。
【参考書】	受講する科目の指示による。